

江戸時代のベストセラー『都名所図会』で探る長岡京市と光明寺 長岡京市文化財保存活用地域計画「7つのものがたり」講演会を開催

長岡京市では、2022年に市制施行50周年を迎え、これまでの本市の歩みを振り返りながら、歴史文化の特徴を「7つのものがたり」としてまとめ、これらを構成する文化財を未来へ継承するため、「長岡京市文化財保存活用地域計画」を定めました。

この地域計画に基づく事業として、歴史講演会を毎年開催しています。

今年は、江戸時代の京都及びその周辺の観光ガイドブックともいわれる『都名所図会』を手がかりに、本市の魅力を探ります。

- ▶日 時： 令和6年6月29日(土) 午後1時30分～3時30分
- ▶場 所： 西山浄土宗総本山 光明寺 大書院（京都府長岡京市粟生西条ノ内 26-1）
- ▶講 師： 天理大学 人文学部教授 西野 由紀 さん
- ▶演 題： 「都名所図会」にみる江戸時代の長岡京市と光明寺
- ▶定 員： 70名
- ▶参加費： 無料
- ▶主 催： 長岡京市文化財保存活用推進会議（事務局：長岡京市教育委員会文化財保存活用課）
- ▶申込み： 事前申込制

※6月21日(金)までにホームページまたは事務局まで電話で申込み。

◎本件についての問い合わせ先

長岡京市 教育委員会 文化財保存活用課 文化財保存活用担当（担当：川瀬）
電話：075-954-3557
ファクス：075-954-8500
メール：bunkazai@city.nagaokakyo.lg.jp

【参考】長岡京市文化財保存活用地域計画

文化財保存活用地域計画は、文化財保護法に位置づけられる、文化財の保存・活用に関する総合的な計画で、長岡京市では令和4年12月に文化庁長官の認定を受けました。

本市の歴史文化を、未来へ大切に守り、伝えていくためには、文化財行政だけでなく多様な主体が連携し、誰もが文化財に親しみ、その価値や歴史文化の魅力をともに磨き、楽しみながら次世代へつなげていく取組が必要です。そのため、歴史文化の特徴から紡いだ「7つのものがたり」を共有しながら、文化財の保存・活用に関する現状と課題から導く「8つのビジョン」、さらに「4つの基本方針」を示し、わかりやすく総合的・一体的な取組を進めています。

<https://www.city.nagaokakyo.lg.jp/0000013098.html>